

飯伊 産業経済動向

No.524 2022/11
(4.12.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上) (10月)	県内	6件	(前月 4件)	(前年同月 10件)	(前々年同月 7件)	(令和元年同月 6件)
	飯伊	0件	(前月 0件)	(前年同月 1件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(10月)		44戸	△ 2.3%	△ 40.5%	△ 49.4%	△ 15.4%
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(10月)		1.74倍	(前月 1.67倍)	(前年同月 1.50倍)	(前々年同月 1.03倍)	(令和元年同月 1.38倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,014台	4.5%	1.8%	△ 7.4%	△ 4.1%
	中古車	621台	△ 4.2%	△ 10.4%	△ 8.7%	△ 4.8%
軽自動車新規登録台数 (一社)全国軽自動車協会連合会 (10月)	新車	4,100台	0.5%	36.1%	△ 3.2%	25.8%
	中古車	920台	△ 5.9%	△ 7.8%	△ 0.2%	3.4%
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	97,009台	△ 4.5%	△ 4.2%	△ 7.7%	△ 20.1%
	出	98,351台	△ 7.0%	△ 2.6%	△ 6.1%	△ 19.4%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	66,556台	△ 3.8%	△ 5.6%	△ 18.7%	△ 26.8%
	出	65,693台	△ 0.5%	△ 6.6%	△ 20.2%	△ 26.5%
中央道利用台数 (園原インター分)	入	21,659台	△ 18.8%	9.0%	16.0%	4.3%
	出	17,861台	△ 9.2%	△ 10.2%	△ 2.4%	△ 13.4%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	49,131台	△ 5.2%	△ 0.7%	4.0%	△ 6.2%
	出	55,532台	△ 8.7%	11.5%	14.3%	4.4%
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	36,212台	△ 7.1%	8.4%	-%	-%
	出	35,343台	△ 6.9%	7.4%	-%	-%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		131件	17.0%	24.8%	△ 35.5%	△ 10.3%
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0件	(前月 0件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 2件)	(令和元年同月 7件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	15,975人	△ 6.8%	23.1%	118.9%	△ 42.3%
	飯田～名古屋	11,313人	△ 6.1%	11.7%	51.9%	△ 38.7%
	飯田～長野	3,456人	△ 14.0%	△ 11.5%	△ 8.6%	△ 61.1%
	伊那・駒ヶ根～新宿	11,151人	△ 10.9%	54.7%	172.0%	△ 49.3%
市内循環バス乗車人数	左回り	2,556人	△ 11.6%	△ 10.8%	△ 5.3%	△ 30.6%
	右回り	2,480人	△ 14.5%	△ 7.8%	△ 6.0%	△ 26.9%

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



100%植物性油墨インキ
[リチウムラスタ100] を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIはやや悪化、機械製造で受注状況の悪化を指摘する声が増加

当月の製造業の業況判断指数（DI）はマイナス12.5で、前月から4.2ポイント低下。翌月予測はマイナス14.3で、前月から14.3ポイント低下。機械製造業では受注減の業者が増加し、先行きの景況感も厳しい見方が多い。一方、建築用金属や服飾では景況感好転の声も。また原材料費については、円安の動きは一服したものの高止まりしており、下落する気配はないとの声が複数聞かれた。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は減少との声が多く、前年比でも減少との声が多い。受注の前月比は横ばいとの声が多い。
- ☑景況感…… 当月の景況感は概ね横ばいとの声が多く、先行きについても同様。ウクライナ情勢、半導体不足、円安、原材料高、コロナ第8波などを受け、先行きの不透明感は依然強い。

[企業からのコメント]

- ・新型コロナによる世界経済減速の影響が長期的に懸念される中で、徐々に回復してきた受注状況に変化が出てきた。この先の状況においては、不透明感が出てきている。
- ・為替の影響もあり、輸入材の値上がりが顕著になっている。客先に対し、売価に転嫁できるよう交渉している。

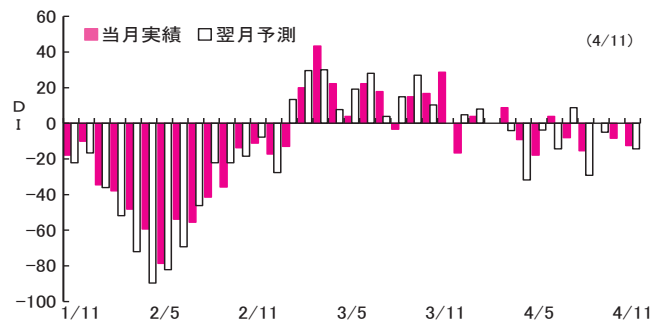
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれるが、前年比では減少との声が多い。受注残は前月比、前年比ともに減少との声が多い。
- ☑景況感…… 当月の景況感は悪化～概ね横ばい、先行きについても悪化との声が多数。半導体業界は中長期的には拡大基調ではあるが、現状は踊り場状態であるとの声が複数聞かれた。

[企業からのコメント]

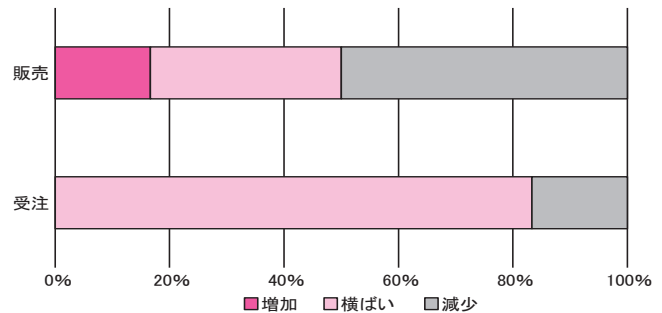
- ・半導体市場はコンシューマー向け市場とエンタープライズ向け市場の二極化が進んでいる。コンシューマー向け市場では、世界的なインフレや金利上昇による可処分所得の減少に加え、個人消費が旅行や娯楽など他の分野にシフトしていることが大きな要因となり、市場が低迷していると考えられる。一方、企業向けネットワークなどのエンタープライズ向け市場については、マクロ経済の減速や地政学的な懸念の高まりに関わらず、現状は比較的堅調に推移している。全体的に、短期的な調整局面となっているが、中長期的な展望は明るい見通しとなっている。
- ・今後の動向について、メイン取引先からは、来年の回復も厳しいとの話がある一方、中国ゼロコロナ政策の緩和が進めば回復する可能性があるとのこと。直近の動向は、中国の経済回復次第とみられる（特に中国向けスマホの需要回復が肝）。なお、半導体需要は今後間違いなく伸びると予想されており、国内で半導体工場の建設が軒並み始まっているため、将来的には安泰である。今は踊り場であり、準備の期間と考えているとのこと。

飯伊地区景況DI（製造業）

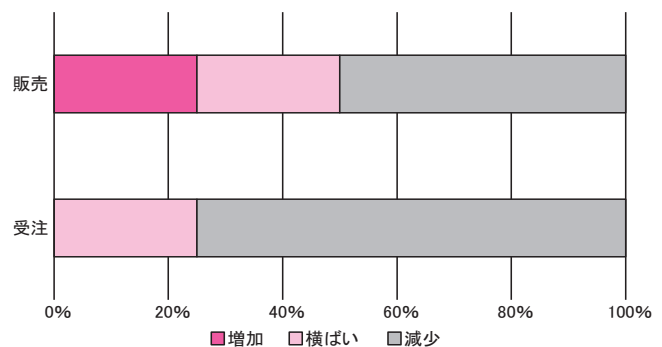


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
 景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
 「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合

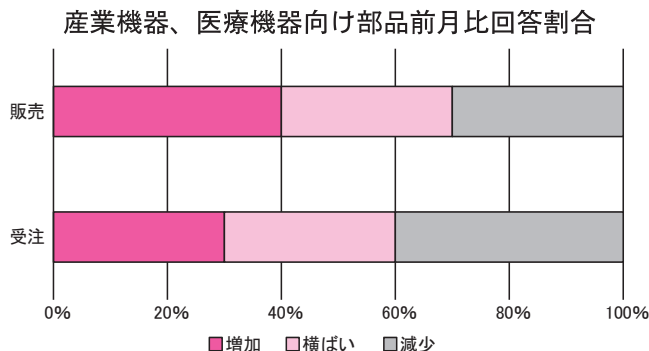


半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに業者により増減分かれる。ただ、先行きに関しては減少を見込むとの声が多く聞かれた。
- ☑景況感…… 足元の景況感は業者により見方が分かれるが、悪化との声が多い。先行きについても悪化を見込むとの声が多い。



[企業からのコメント]

- ・「注文数が増加して、元気を取り戻した」「11月の生産動向説明会では、当面受注減ではあるが、新年度は回復基調で推移するとのこと」「年明けより、各業種ともに下方傾向。来年度いっぱいはこの状況が続くとの情報もある。今後、厳しい状況になると予想される」「取引先によって好不調の山・谷が大きくなった。半導体不足の影響も大きい。あまり明るい話が聞こえてこない」
- ・「材料単価は前月と変わらずも、高止まりの状況。そんな中、受注に関しては相見積もりも増えており、厳しい状況は変わらず」「10月をピークに原材料費は高止まりしている。ただ下落の情報はなく、当面高止まり、もしくは上昇に転じる懸念も」
- ・新型コロナの対策を行いつつ、いつ感染するかヒヤヒヤな毎日。そんな中、生き残りを掛けて頑張っている。

●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☑売 上……… 漬物は前月比やや減少、前年比では概ね横ばい。菓子は概ね横ばいとの声が多い。景況感については、大きな変化はないとの声が多い。
- ☑原材料価格…円安は一息ついた感があるが、今後も値上げは続きそうとの声も。

[企業からのコメント]

- ・「イベント・観光向けでは良い所もあるようだが、スーパー・コンビニ向けは変わらない状況」「12月下旬から忙しくなりそう」「食料品全般に値上げ品目が増え、余分なものは買わないなど、消費行動に変化が感じられる」
- ・「今後も原料・包装資材・段ボール・運賃・電気・ガスなど、上がらないものがない」「原料・資材高で、商品値上げが追いつかない」「製品の値上げは、消費動向を見ながらだが来年秋口くらいになるか」「為替は一時的な円安から一息ついた感があるが、それによって値上がりしたものが下がる気配はない。この調達環境の変化は、製造業にとっては厳しい」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上…前月比はやや増加。景況感はやや好転との声。

[企業からのコメント]

- ・正月飾用品を扱う会社は繁忙だったが、祝儀用品だけを扱う会社はますます減少している。
- ・材料費、工賃の値上げがあり、利益が縮小。まだ材料の値上げがあるので、製品の値上げを検討している。
- ・飯伊でもコロナ感染者が増加していて、手作業の多いこの業界にとって社員の休業は痛手。

●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品…販売は、前月比、前年比ともに増加。景況感も好転との声。
- ☑自動車向け部品…販売は、前月比ではやや減少、前年比ではやや増加。景況感は横ばいという。
- ☑印刷………販売は、前月比、前年比ともやや減少。次月以降もやや減少を見込むという。
- ☑服飾………販売は前月比、前年比とも増加。次月以降も増加を見込むという。

[企業からのコメント]

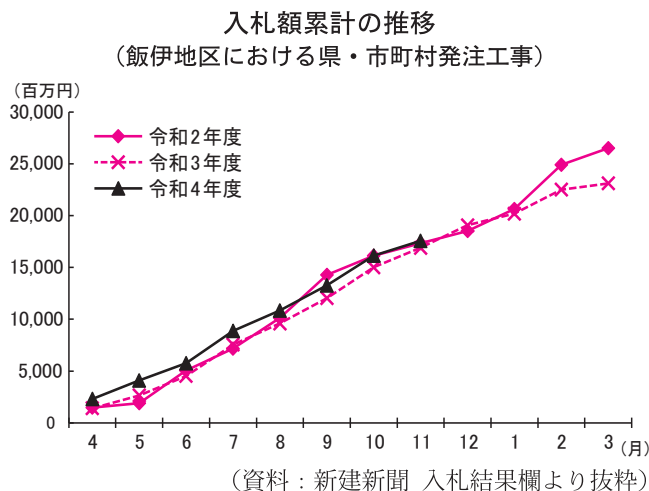
- ・首都圏の再開発事業で、工程的に当社が担当する時期に入ってきた。同業他社も潤沢に受注している模様。
- ・資材の価格が上がる中、印刷用紙の価格が今年2度目の値上げとなった。顧客の理解を得ながら、製品価格に転嫁していくしかない。
- ・年賀状では、個人の年賀状じまいの文面を入れる方が少しずつ増えてきている。日本の良き文化が失われつつあり、残念。
- ・コロナは減っていないが、国内の服飾消費は拡大してきている。3年間に及ぶコロナ禍での外出制限が緩和されたのが原因と思われる。国内の物価上昇もあるが、それ以上に購買欲が勝っていると感じる。
- ・海外から日本へ服飾の生産地が移ってきているため、国内生産が拡大してきている。

建設業

官公需

概況 11月の公共工事入札金額は前年比で23.8%減少、一昨年比では2割増加

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約14.3億円（12月15日調査時点）。前年に比べ23.8%減少、2年前との比較では20.0%増加。
- ☑受注残高…………… 前月比、前年比とも、業者により増減分かれる。景況感は概ね横ばいとの声が多く聞かれる。
- ☑原材料価格…………… 技術者を中心に人手不足を指摘する声は多い。人手不足による影響で、工事単価の上昇につながっているとの声も聞かれた。



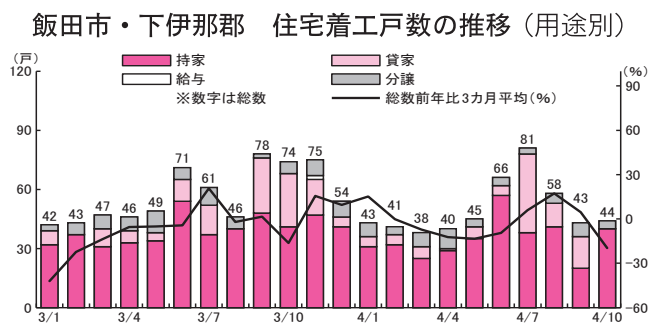
[企業からのコメント]

- ・「土木は災害工事等が終わり、工事の発注量が例年に比べ少ないが、作業員・技術者が不足している。今年は減災・防災で、橋梁補修工事の発注が多い」「災害関連等、発注あり。小規模経営では年度内は十分な工事量があると見込まれる」
- ・「資材価格は値上がりが続いている。明年に値上げをする旨の通知がある建設資材もある。」
- ・「工事量に対して人手不足感がある」「業務量はあるが、技術者が不足している」「人手不足等により、工事単価も上昇」

民需

概況 令和4年10月の住宅着工戸数は44戸で前年比41%減。
持家は40戸と持ち直すも、貸家の落ち込みが響く

- ☑住宅着工戸数… 当地区の10月の住宅着工戸数は44戸。前月比2%増、前年比では41%減。持家の戸数は40件と前年（41件）並みも、貸家が0件となり、前年（27件）から大きく減少。
- ☑原材料価格…………… 多くの事業者で上昇が続いているとの声。前年比では資材が4割以上値上がりしているとの声も聞かれた。



[企業からのコメント]

- ・「小型の仕事は少し入っているが、その分完成もしているので、満足するほどの仕事にはなっていない」「新築工事の受注はない。リフォーム工事のみ」「公共工事の土木は良いが、建築は資材高騰で利益確保が厳しい。民間建築はもっと厳しい」
- ・「土木業者は仕事には困らない様子で、人が足りずに困っている。建築は職人が重なるので、工事が忙しくなると高齢化と相まって職人が回らなくなる。」

建設資材等

概況 11月の生コン売上は前月比増加、骨材の売上も前月比増加との声

- ☑生コン…売上は前月比では増加、前年比では減少～やや減少という。
- ☑骨材…売上は前月比では増加、前年比ではやや減少～横ばいとの声。

[企業からのコメント]

- ・「当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、トンネル工事、工場・店舗建設、堰堤・砂防工事、バイパス工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の4%弱。」
- ・「下伊那の生コンは先月よりは出荷があったようだ。三遠南信道小嵐トンネル長野県側の掘削はあと少しで予定距離に達する見込みのようだ。」
- ・「生コンの動きに合わせ、骨材の出荷も緩やかな状態。その中で、ダンプカーについては空くことなく忙しい状況が続いている。」
- ・「電気料金が増えている。砂利、砕石の生産には多くの電力を使うので困っている。」

商業・サービス業

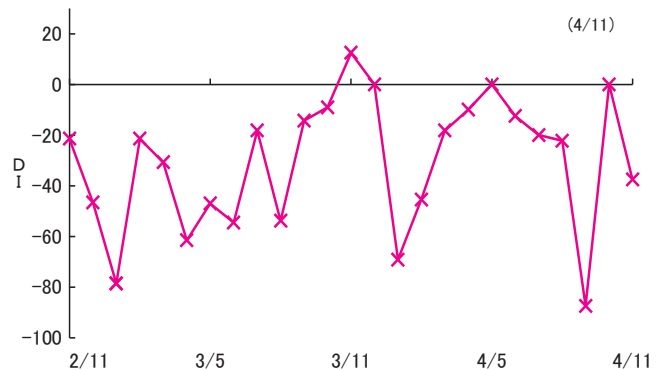
概況 景況感は悪化。コロナ第8波により、飲食業に大きな影響

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、マイナス37.5で、前月から37.5ポイント低下。

10月後半からコロナ感染者が急増し、当地域では第7波のピークを越える感染者が出る中、飲食業では予約のキャンセルが相次ぐなど大きな影響が出ている。宿泊業では全国旅行支援の効果か、キャンセル増加の声は聴かれないが、冬季の閑散期を乗り切れるか不安、との声は多い。

食品を中心に仕入単価の上昇は続いており、年末を見据え今のうちに在庫を増やすとの声も聞かれた。

商業・サービスD I



(資料：新建新聞入札結果欄より抜粋)

主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比ではやや減少、前年比ではやや増加との声

☑売上……前月比ではやや減少、前年比ではやや増加との声。

☑仕入単価…やや上昇との声。先行きについてもやや上昇を見込むとの声。

[企業からのコメント]

・青果部門は前月比でマイナス、食品・菓子は前月比横ばい。全体的には前年比で微増となった。昨年は10月～2月まで売上が前年を大きく下回ったが、今年度は増加傾向である。

●卸売業 概況 売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感は概ね横ばい

☑売上…食品や電設資材の売上は前月比でやや増加。青果卸では季節要因により、前月比、前年比とも減少との声。

[企業からのコメント]

・野菜の価格は昨年が低価格となったこともあり、今年はやや高めで推移した。特に白菜と大根は高値。一方、馬鈴薯、玉ねぎ、里芋等の土物は安い価格となった。野菜全体では、入荷量やや増、価格もやや高となった。果実は、主力のふじりんごは昨年が大幅な高値であったこともあって一昨年並みの安さ、豊作の柿も安かった。みかんは味よく順調な入荷となり、ほぼ前年並みの価格となった。果実全体では入荷量やや減、価格は大幅安となった。

・市田柿はやや遅れ気味ではあるが、量的には前年比でやや減少の見込み。

・電気代、燃料代が値上がりし続ける中、高価格帯の省エネ性能が高い商品を受注する機会が増加。昨今のアウトドアブームの影響もあり「石油ストーブの出荷増」「キャンプ場の改修工事等の物件増」といった、例年とは異なる需要も見られる。

・ウッドショック時のように価格高騰時に仕入れたものを簡単に安くは売れない。価格転嫁に関しては非常に難しいが、以前より顧客の受け入れも柔軟になった印象を受ける。ただ、競合他社の影響もあって価格転嫁はまだ不十分である。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 コロナ感染者急増を受け、飲食業を中心に景況感が悪化。

宿泊業では売上の落ちる冬季を控え不安の声も

☑売上… 前月比、前年比ともに業者により増減分かれるが、やや減少との声が多い。飲食業からは、コロナ第8波の影響を指摘する声が複数聞かれた。

[企業からのコメント]

・10月第2週までは予約も順調だったが、その後の感染拡大により予約の電話も減り、12月までの忘年会キャンセルも20件近くになった。コロナ如何という3年目を迎え、うんざりしているのが現実。感染症の類型を変え、発表方法を変えない限り飲食業を取り巻く環境は悪くなる一方だと思う。

・宴会等のキャンセルが多く、参った。感染者が多すぎて、夜は全く静かな状況。年末年始がどうなるか心配。

・全国旅行支援で人が動き、都市部を中心にインバウンドの需要も戻ってきている。ただ、年末年始を除いてこれから閑散期になるため、ビジネス客の獲得をしながら1～2月をうまく乗り切っていきたい。

・全国旅行支援の利用客がほとんど。星空さんぽは徐々に参加者が増加しているが、やはり雨や曇りの時の代替企画がほしい。

・以前のような紅葉狩り、りんご狩りツアーはめっきり減少している。当施設では大広間をなくして、個人客用の食事処として改修した。今までのような宴会はできず不安要素もあるが、その分宿泊者を呼び込みたい。

・人口当たりの感染者数がトップクラスの状況下で、タクシー利用者の行動自粛が顕著に表れている。特に夜の需要は激減しており、昨年以上の落ち込みである。特に、各種団体、企業の複数人での利用が激減している。

起工式を迎えるリニア長野県駅

～ 駅設置に向け次のステージへ～

令和4年12月22日、リニア長野県駅の工事安全祈願祭・起工式が執行された。平成23（2011）年JR東海が全額自己負担により中間駅を建設する、と表明して以来十年余、長野県内にリニア新幹線駅が実現する新たな段階に至った。

1. 起工式を迎えるリニア長野駅

工事説明会資料によると、中央新幹線長野県駅（仮称）新設工事は、工事期間 令和3年6月25日～同8年3月31日、工事延長 約950m。先行着手工事として①土曾川橋梁、②新戸川付替え、③竜西一貫水路付替えに取り掛かる（頁下図参照）。

①土曾川橋梁は、長野県駅のうち、土曾川と国道153号を跨ぐ約120mの橋梁部分で、3つの橋脚（ピア）で構成される。まずは橋脚の基礎をニューマチックケーソン工法により地盤を所定の深さまで掘削し、そこに橋脚基礎を設置していく。

②新戸川付替えは、現状の川筋をリニア本線と直角に交差するよう付け替えるもので、開渠部分とリニア本線の下を通る暗渠部分があり、JR東海施工と県施工とに分かれる。

③竜西一貫水路付替えは、現状の水路の高さをリニア本線が通過することになるため、水路を本線の下にサイフォンにより通すもの。非灌漑期の今冬に一貫水路を迂回して設置（仮切回し）し、灌漑期を含む通年でサイフォン設置工事を進められるようにする。

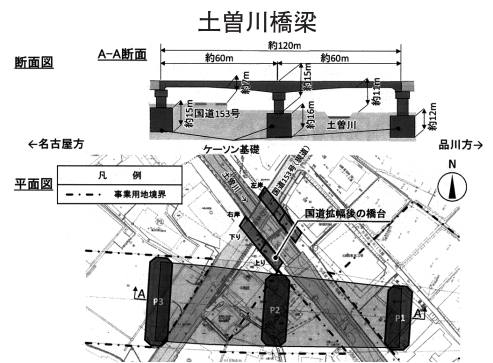
2. 関連工事も注目

以上の3箇所を始めとする工事設置ヤードの周囲には仮囲いが設置される。移転が進んだ結果更地が広がっているが、間もなく辺りは違った光景が広がるようになると思われる。

また、この駅施工ヤードから土曾川沿い工事ヤードとの間を作業用トンネルで結ばれる。この施工ヤード造成や作業用トンネル掘削工事、その後の本線トンネル掘削工事（シールド工法）が順次進められ、（工事期間令和3年4月1日～同8年8月31日）も発表されている。これについても注目したい。



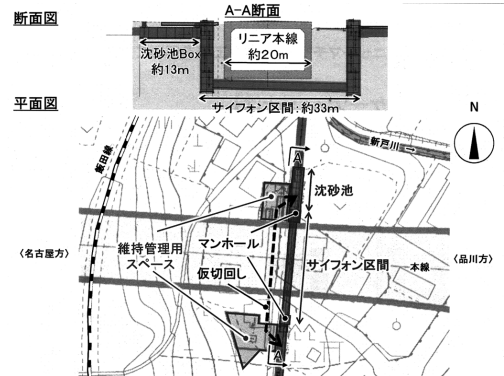
リニア長野県駅起工式（飯田市提供）



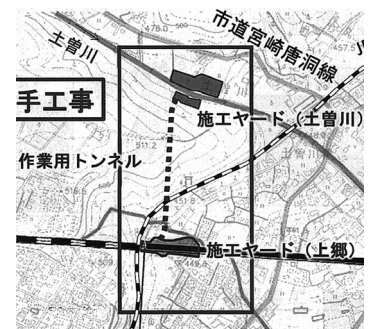
JR東海工事説明会資料より（以下同じ）



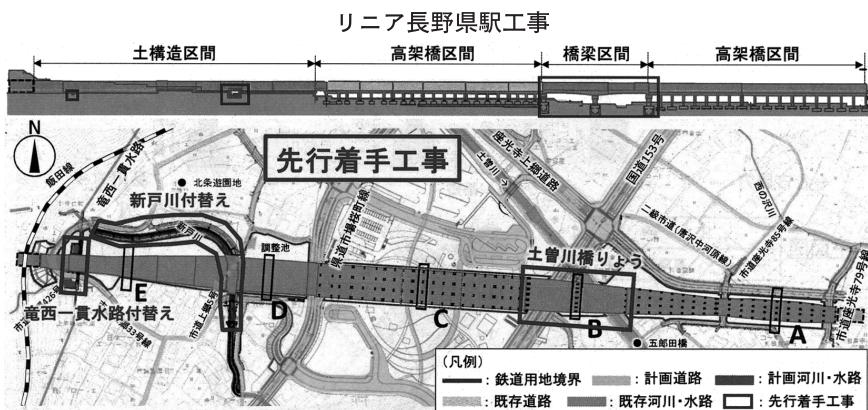
竜西一貫水路付替え



風越山トンネル（上郷）工区



JR東海工事説明会資料より（部分）



3.他のリニア駅の状況は

長野県駅着工に因んで他のリニア駅の現況について概略を報告する。以下については、現場で事業者等から説明を受けておらず、あくまで現場を見た限りでの記述となる。

■品川駅

品川駅は現在の品川駅舎並びに東海道新幹線等の線路の地下に設置される。品川駅の新幹線線路下を掘削してリニア駅を設置するための空間が造られているのであるが、新幹線車内からはこれと言って目を引くものはなく、駅周辺にも大規模な施工ヤードが見られるようなことはない。

ただ、品川駅の3工区のうち神奈川県寄りの非開削工区では、品川駅東側の区道4車線のうち2車線を通行止めにしてその下を掘削している。掘削作業は勿論見ることはできないが、工事関係者や車両の出入りが見られる。

■神奈川県駅

令和元年11月に起工式執行。本年5月には工事現場が報道陣に公開されている。計画では本年度中に地下30mまでの開削作業を終わらせる予定（日経Web）で、その後駅の構造体を造り上げていくという。工事終了後は埋め戻され後に広大な広場ができる。

今月の訪問では、外からは工事の様子は窺い知れないが駅開削部の周辺に土嚢が高く積み重ねられて発生土を仮置きしているように見える。

JR横浜線・京王線橋本駅に面する通り沿いには、リニア駅工事ヤードの仮囲いに近隣の美大（女子美、多摩美、東京造形他）の学生により製作されたリニアをモチーフとしたイラストがあしらわれている。橋本駅を中心として相模原や東京都多摩地区が大学の多いまちということを改めて実感する。

■山梨県駅

駅予定地は、以前と変わらず田圃や畑が広がっており、何も変わっていないように見える。リニア駅予定地の西側鎌田川左岸のほぼリニア本線上と思われる堤防の辺りで工事が見られたが、リニア工事との関連は不明。

山梨県内で進められている新山梨環状道路建設は、本年11月19日東部区間（事業担当：山梨県）の甲府市西下条町～落合町間1.6kmが開通した。これで同道路南部区間の先線が中央自動車道を潜り、石和町方面へと延伸。リニア駅と繋げ甲府市とその周辺を取り囲む構想の新山梨環状道路が一步進んだことになる。

リニア駅予定地から車で10分程のところに山梨大学医学部付属病院がある。リニアが開通すれば、飯田から最も近い大学病院となるのでは。

■岐阜県駅

岐阜県駅は、令和3年11月にトンネル崩落事故を受けて駅工事の起工式が延期（本年6月に挙行）となったが、準備工事は着手。県道410号から東側（東工区）が先行して施工されている。

現場は仮囲いで囲まれ、駅予定地から本線や車両基地と結ぶ引き込み線が通る箇所の開削工事が進められている。（2022年3月No.516を参照下さい）

■名古屋駅

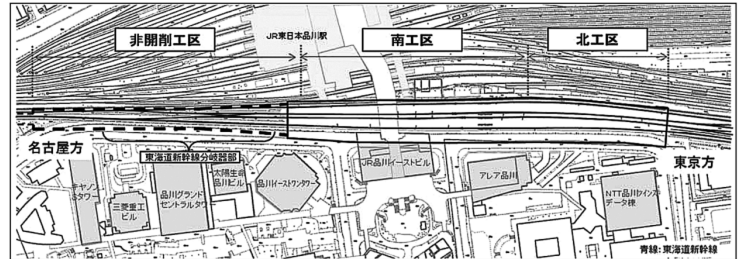
リニア名古屋駅は東海道新幹線等のホームとほぼ直交して地下に造られる。地下駅の上には建物を置かず広場とするため、名古屋駅の東西はビル等が撤去され、広大な更地ができています。

本年11月時点では、駅東側の地上構造物撤去作業もほぼ終了しており、地中連続壁の作業に移る、若しくは取り掛かっているものとみられる。（2022年8月No.521 参照）

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）



品川駅前の非開削工区
品川駅の3工区



（JR東海環境保全計画書より）



神奈川県駅の仮囲いと土嚢の山



山梨県駅予定地から西方を望む



JR美乃坂本駅から見る岐阜県駅工事現場



名古屋市中村区 仮囲いと工事プラント

2022年の飯伊地区各種統計から

長野県鉱工業生産指数

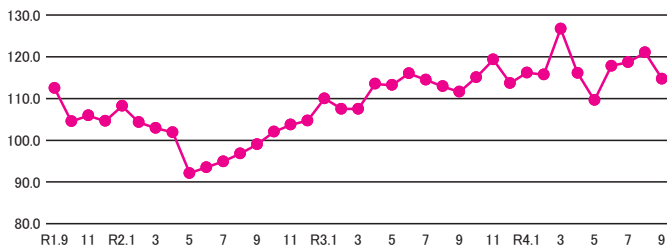
令和4年9月までの長野県鉱工業生産指数（季節調整済指数 H27=100）の推移をみると、3月の指数は126.7と高水準だったが、5月にかけて落ち込み、9月にも再度落ち込みが見られる。平成27年の水準を上回り、昨年、一昨年をも上回る水準で推移した月が多かったが、変動も大きかった。

品目別に見ると、電子部品、デバイスや情報通信機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業など長野県の主力製造業種は、前年を上回った月が多い。輸送機械工業は年初来前年を下回っていたが、8月以降前年に比べ増加している。

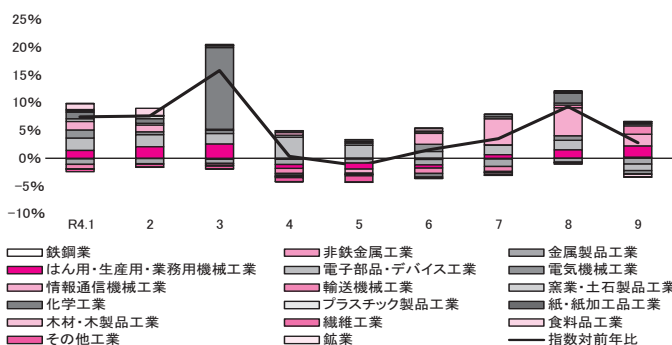
紙・紙加工品工業や食料品工業は、概ね前年並みに推移したと思われる。

資料：長野県企画局情報政策課

長野県鉱工業指数（季節調整済指数 H27=100）



長野県鉱工業生産指数 品目別寄与度（対前年比 原指数 H27=100）

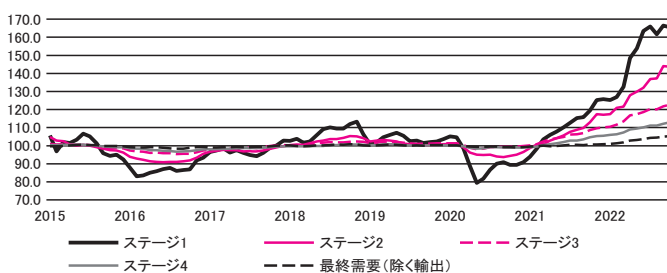


最終需要・中間需要物価指数

生産に投入される、財・サービスの価格の推移を、日本銀行の最終需要・中間需要物価指数でみると、2020年後半以降、中間需要段階で生産工程の最上流に位置するステージ1の価格上昇が最も大きく、川中から川下に移るにつれて上流の価格上昇が吸収されていくが、今回の局面では、ステージ2～4の川中段階の指数も上昇している。川中段階の指数の上昇は、エネルギー価格の上昇もさることながら、財価格の上昇の寄与が大きいとの分析もある。

資料：日本銀行

最終需要・中間需要物価指数の推移（2015年平均=100）



飯伊地区の県、市町村工事入札額

令和4年11月現在の、当地区における県、市町村を合わせた公共工事入札額の累計をみると、概ね令和元年、2年並みで推移している。

表にはないが、今年を含む過去3年間の県、市町村工事入札額の水準は、平成30年近辺の水準と比べれば増加している。

発注者別入札額の累計

（単位：百万円）

年度	県			飯田市			町村計			県、飯田市、町村計		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
4月	863	757	1,031	156	232	47	470	419	1,225	1,489	1,407	2,304
5月	896	1,248	1,512	237	563	235	764	837	2,353	1,897	2,647	4,100
6月	2,566	2,376	2,397	676	846	599	1,820	1,298	2,756	5,062	4,519	5,752
7月	3,534	3,975	4,103	1,235	1,413	1,366	2,394	2,172	3,399	7,162	7,560	8,868
8月	4,632	4,449	5,105	1,535	2,356	1,619	3,975	2,793	4,120	10,142	9,597	10,844
9月	8,026	5,634	7,244	1,823	2,632	1,735	4,437	3,771	4,302	14,287	12,036	13,281
10月	8,750	7,452	9,417	2,359	3,184	1,964	5,030	4,377	4,757	16,139	15,013	16,139
11月	9,013	7,918	10,663	2,662	3,502	1,964	5,655	5,468	4,940	17,330	16,888	17,568
12月	9,424	9,084	-	2,917	4,026	-	6,165	5,955	-	18,506	19,066	-
1月	11,020	9,748	-	3,111	4,147	-	6,493	6,301	-	20,625	20,196	-
2月	14,711	11,757	-	3,302	4,361	-	6,897	6,386	-	24,910	22,504	-
3月	15,800	12,284	-	3,622	4,382	-	7,103	6,448	-	26,525	23,114	-

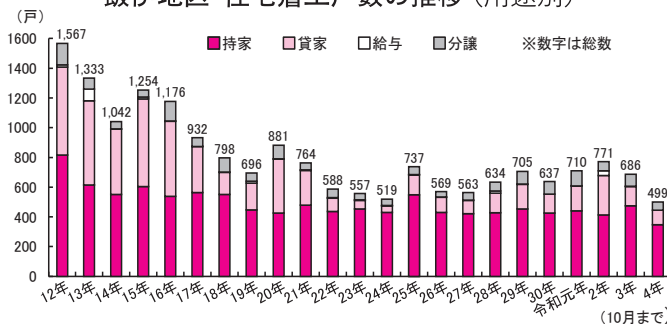
（資料：新建新聞「入札情報」抜粋）

飯伊地区の住宅着工戸数

令和4年10月時点の住宅着工戸数の暦年累計は、持家348戸、貸家96戸、分譲55戸の、合計499戸。

因みに、令和3年10月時点の暦年累計は、持家387戸、貸家107戸、分譲63戸の合計557戸。令和元年は、持家344戸、貸家113戸、給与1戸、分譲88戸の、合計546戸。昨年は、リニア移転工事の影響もあってか持家の10月までの暦年累計が多かったが、今年はそれより前の数年と同様の水準となっている。

飯伊地区 住宅着工戸数の推移（用途別）



（資料：長野県住宅部）

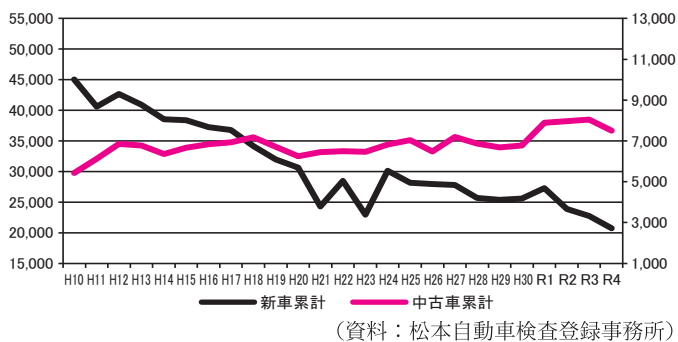
自動車新規登録台数

令和4年の新車と中古車を合わせた自動車新規登録台数（松本自動車検査登録事務所管内）の累計は、11月現在、新車が20,746台、中古車が7,508台の、合計28,254台。前年同期比で8.2%減少している。

右のグラフは新車、中古車の、各年11月までの新規登録台数の累計を表したもので、新車の新規登録台数は趨勢的に減少している。また、令和元年以降の中古車の新規登録台数は高い水準にあることが見て取れる。

資料：長野運輸支局松本自動車検査登録事務所

自動車新規登録台数（松本自動車検査登録事務所管内）



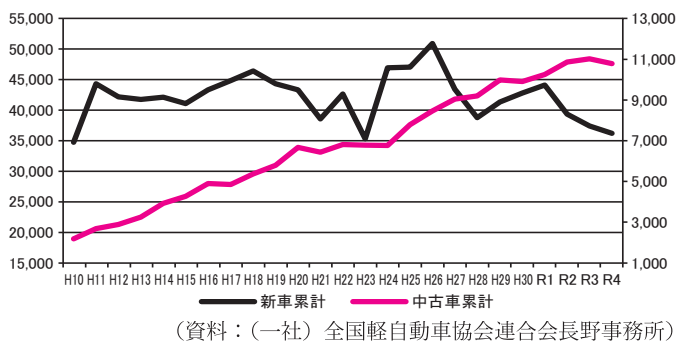
軽自動車新規登録台数

令和4年の新車と中古車を合わせた自動車新規登録台数（長野県計）の累計は、10月現在、新車36,226台、中古車10,794台の合計47,020台で、前年同期比で3.0%減少している。

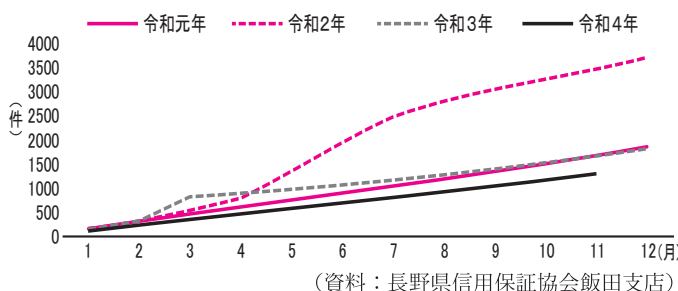
右のグラフは新車、中古車の、各年10月までの新規登録台数の累計を表したもので、中古車の新規登録台数は趨勢的に増加している。また、令和元年以降の新車の新規登録台数は低い水準にあることが見て取れる。

資料：（一社）全国軽自動車協会連合会長野事務所

軽自動車新規登録台数（長野県合計）



長野県信用保証協会飯田支店管内 新規保証承諾件数 年別累計

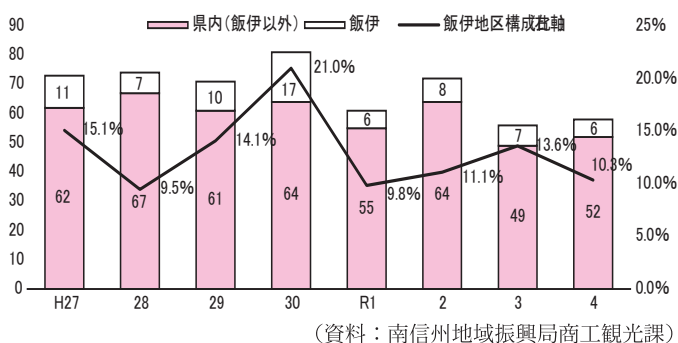


信用保証協会新規保証承諾件数

令和4年の長野県信用保証協会飯田支店管内の新規保証承諾件数は、11月現在、過去3年よりやや低い水準で推移している。

資料：長野県信用保証協会飯田支店

倒産件数（負債総額1,000万以上 各年10月現在）



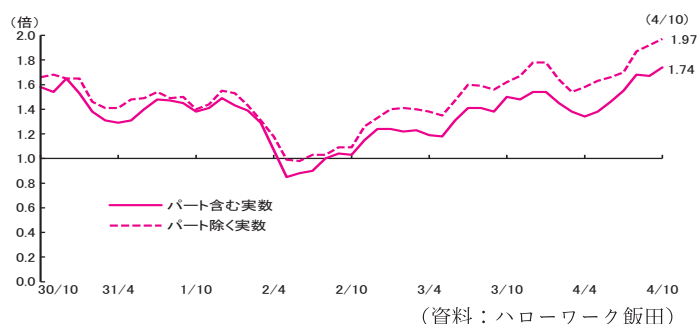
倒産件数（負債総額1,000万円以上）

令和4年10月までの飯伊地区の累計倒産件数は6件で、県全体の10.3%を占める。

各年10月までの累計倒産件数を見た場合、令和元年以降、それまでに比べ倒産件数が抑えられている状態が続いているようにも思われる。

資料：南信州地域振興局商工観光課

有効求人倍率



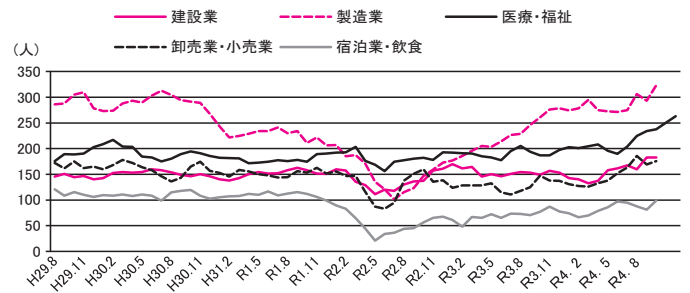
ハローワーク飯田管内 有効求人倍率、新規求人数

令和4年のハローワーク飯田管内の有効求人倍率は、1倍を上回って推移した。10月の有効求人倍率（パートを除く実数）は2倍に近づいており、当所の記録で遡ると、平成3～4年の水準となっている。

また、新規求人数は、多くの業種でコロナ前に回復している中であって、宿泊・飲食業などでは、コロナ前の水準に回復していない。

資料：ハローワーク飯田

ハローワーク飯田管内新規求人数（3ヵ月移動平均）



(資料：ハローワーク飯田)

中央道高速バス3路線利用人数

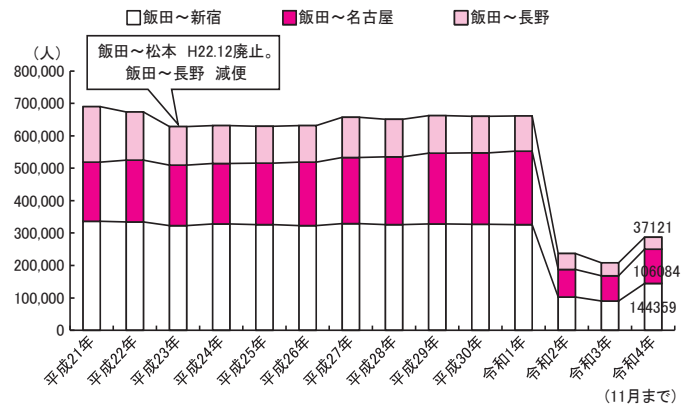
令和4年の中央道高速バス3路線利用人数は、11月までの累計で、飯田～新宿線144,359人、飯田～名古屋線106,084人、飯田～長野線37,121人。

11月現在の累計でも、令和3年1年間の利用人数に比べ、飯田～新宿線は59.5%、飯田～名古屋線36.2%増加している。

コロナ前の水準には及ばないものの、昨年、一昨年に比べ回復している様子も窺える。

資料：信南交通（株）

中央道高速バス3路線シェアの推移



(11月まで)

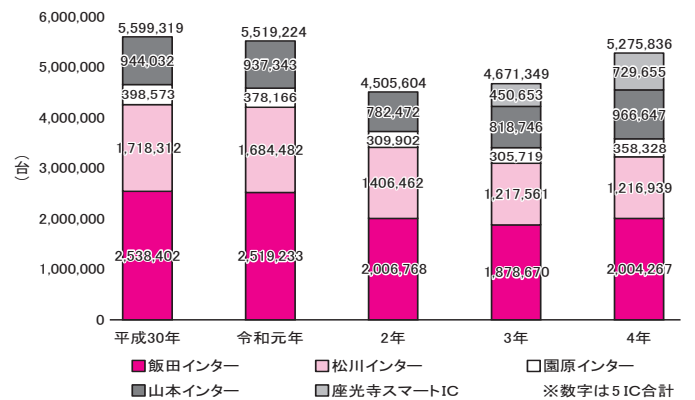
中央道利用台数（飯伊地区5インターチェンジ出入合計）

令和4年の飯伊地区5インターチェンジ利用台数は、11月までの累計で、飯田IC 2,004,267台、松川IC 1,216,939台、園原IC 358,328台、山本IC 966,647台、座光寺SIC 729,655台の、合計 5,275,836台で、令和3年同期比で12.9%増加しており、コロナ前の水準に回復しつつある様子が窺える。

令和3年3月に開通した座光寺SICの、令和4年1～11月の累計シェアは13.8%。令和3年11月までのそれと比べて、4.2ポイント上昇している。

資料：中日本高速道路（株）

5インターチェンジ利用台数（出入計 各年11月までの累計）



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 中村 達)

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）

